

食品安全情報（化学物質） No. 1/ 2016（2016.01.06）

国立医薬品食品衛生研究所 安全情報部
(<http://www.nihs.go.jp/hse/food-info/foodinfonews/index.html>)

目次（各機関名のリンク先は本文中の当該記事です）

[【WHO】](#)

1. 国際がん研究機関：IARC モノグラフ

[【EC】](#)

1. 子どもが飲み込むおもちゃ材料の推定量についての SCHER の予備的意見
2. 食品及び飼料に関する緊急警告システム（RASFF）

[【FSA】](#)

1. アレルギー警告：Interlink Direct は表示されていない乳のため Orthodox Coconut Palm ブランドのココナツジュースをリコール

[【MHRA】](#)

1. 危険なダイエット錠剤は新年の誓いの答えではない

[【FDA】](#)

1. FDA は食品の表示に「ナチュラル」という用語を使うことについて意見を募集
2. FDA の執行：消費者を守り人々からの信頼を強化する
3. リコール情報
4. 公示
5. 警告文書

[【NTP】](#)

1. ワークショップ：植物ダイエタリーサプリメントの安全性を評価する課題に対応する

[【CDC】](#)

1. ファクトシート 飲酒とあなたの健康

[【USDA】](#)

1. USDA の FSIS は公衆衛生上のトレランスが設定されていない残留物質についての標準的アプローチを発表
2. 官報告知 国家残留物質計画：化学ハザードモニタリング

[【FSANZ】](#)

1. 正しい表示を

[【NSW】](#)

1. リコール Nakula オーガニックココナツクリーム

[【MPI】](#)

1. 貝を採っても安全？-MPI はあなたに教えることができる

[【香港政府ニュース】](#)

1. キャンディ、デザートリコール
2. 火鍋検体は検査に合格

[【MFDS】](#)

1. 日本産輸入食品の放射能検査の結果

2. 違法卵の輸入業者の取り締まり強化
3. ベンゾピレンが超過して検出された山椒油（サラダ油）の回収
4. 食品医薬品安全庁、ネイバーと業務協約締結
5. 食品異物混入検査の信頼性と客観性の確保のための関連告示改訂

【その他】

- ・ (EurekAlert) FIU の科学者がどうやってヒ素が植物の種子に蓄積するのか発見
- ・ (EurekAlert) ビタミン D の月間高投与量は転倒リスクの高さと関連

● 世界保健機関 (WHO : World Health Organization) <http://www.who.int/en/>

1. 国際がん研究機関

IARC モノグラフ

IARC Monographs on the Evaluation of Carcinogenic Risks to Humans

Volume 112 (2015)

Some Organophosphate Insecticides and Herbicides: Diazinon, Glyphosate, Malathion, Parathion, and Tetrachlorvinphos

<http://monographs.iarc.fr/ENG/Monographs/vol112/index.php>

IARC モノグラフ 112 巻 (有機リン系農薬: ダイアジノン、グリホサート、マラチオン、パラチオン、テトラクロルビンホス) の PDF オンライン発表。

● 欧州委員会 (EC : Food Safety: from the Farm to the Fork)

http://ec.europa.eu/food/food/index_en.htm

1. 子どもが飲み込むおもちゃ材料の推定量についての SCHER の予備的意見

SCHER preliminary Opinion on estimates of the amount of toy materials ingested by children

http://ec.europa.eu/dgs/health_food-safety/dyna/enews/enews.cfm?al_id=1657

SCHER (健康及び環境リスクに関する科学委員会) は、子ども用おもちゃの 3 種類の素材について飲み込む量のデータをレビューし、現在の移行量基準が適切かどうか意見を求められた。SCHER は子どもが飲み込む量を次のように推定した。

1. 乾燥した、脆い、パウダー状、あるいは柔らかいおもちゃ素材 (移行限度 100mg/日)
2. 液体あるいは粘着性のあるおもちゃ素材 (400mg/日)
3. 削ると落ちるおもちゃ素材 (8mg/日)

SCHER は現行基準を適切だと考えたが、この意見について 2016 年 2 月 14 日までパブリックコメントを募集する。

2. 食品及び飼料に関する緊急警告システム (RASFF)

Rapid Alert System for Food and Feed (RASFF) Portal - online searchable database

http://ec.europa.eu/food/food/rapidalert/rasff_portal_database_en.htm

RASFF Portal Database

<https://webgate.ec.europa.eu/rasff-window/portal/>

2015 年第 52 週～第 53 週の主な通知内容 (ポータルデータベース から抽出)

* 基本的に数値の記載がある事例は基準値超過 (例外あり)

* RASFF へ報告されている事例のうち残留農薬、食品添加物、食品容器、新規食品、カビ毒を含む天然汚染物質の基準違反等について抜粋

警報通知 (Alert Notifications)

ハンガリー産スピルリナ錠剤の鉛 (4.09 mg/kg)、トルコ産乾燥イチジクのオクラトキシン A (0.3; 0.80; 27.8 μ g/kg)、英国から発送された乾燥海草のカドミウム (0.50 mg/kg) とヨウ素 (134< -->220 mg/kg)、チリ産ポーランド包装種抜きプルーンのソルビン酸 (2008 mg/kg)、ポーランド産塩の多すぎるヨウ素 (41.6 mg/kg)、など。

注意喚起情報 (information for attention)

ガーナ産冷凍メカジキの水銀 (1.4 mg/kg)、米国産くるみのアフラトキシン (B1=68; Tot. =73.3 μ g/kg)、トルコ産乾燥イチジクのオクラトキシン A (10.8 μ g/kg)、アルジェリア産冷凍赤エビの亜硫酸 (221 mg/kg)、南アフリカ産オレンジのイマザリル (6.04 mg/kg)、モルドバ産乾燥種抜きプルーンのソルビン酸 (1267; 1038; 1415; 1454 mg/kg)、インドネシア産冷凍インド太平洋タコの亜硫酸非表示 (79 mg/kg)、ペルー産ココアの未承認物質コカイン (0.6%)、トルコ産ブルガリア経由風船ガムのキノリンイエロー (76.8 mg/kg)、米国産食品サプリメントの未承認新規食品成分アエゲリン、ブラジル産白ブドウのメタミドホス (0.13 mg/kg)、チュニジア産陶器カップからの鉛 (15.5 mg/L) とアルミニウム (8.3 mg/L) の溶出、など。

フォローアップ用情報 (information for follow-up)

冷凍鳥肉のドキシサイクリン (218 μ g/kg)、スペイン産赤ワインの亜硫酸 (199 mg/L)、米国産オランダ経由食品サプリメントの未承認新規食品成分アグマチン硫酸と新規食品成分ノルコクラウリン、スロベニア産食品サプリメントの未承認新規食品成分アグマチン硫酸、ルクセンブルグ産食品サプリメントの未承認新規食品成分アグマチン硫酸、ベトナム産カエルの足の未承認照射、ロシア産ハチミツのテトラサイクリン (14.7 μ g/kg)、中国産キッチンナイフからのクロムの溶出 (9.2 mg/L)、など。

通関拒否通知 (Border Rejections)

イラン産殻付きピスタチオのアフラトキシン (B1=59.4; Tot. =64 μ g/kg)、インド産クリームウエハースのサンセットイエローFCF とエリスロシン、エジプト産生鮮イチゴのク

ロルピリホス (0.054 mg/kg) ・ジメトエート (0.15 mg/kg) ・オキサミル (0.42 mg/kg) ・プロパモカルブ (0.019 mg/kg)、エジプト産生鮮イチゴのプロパモカルブ (0.031 mg/kg)、中国産ナイフ・スプーン・フォークからのクロムの溶出 (30.4; 16.7; 30.8 mg/L)、エジプト産殻付きピーナッツのアフラトキシン (B1=113.1; Tot. =125.1 μg/kg)、中国産ステンレススチールナイフからのクロムの溶出 (2.2 mg/L)、中国産茶のイミダクロプリド (0.17 ; 0.12; 0.23 mg/kg)、エジプト産チルドイチゴのフィプロニル (0.014 mg/kg)、ドミニカ共和国産チルドササゲのクロルフェナピル (0.040 mg/kg)、トルコ産ブドウの葉のクロルピリホス (0.23 mg/kg) ・ピリメタニル (1.4 mg/kg) ・イプロジオン (0.72 mg/kg) ・ジメトモルフ (0.023 mg/kg) ・アゾキシストロビン (0.51 mg/kg) ・トリフロキシストロビン (0.27 mg/kg) ・ピラクロストロビン (1.5 mg/kg) ・シハロトリン (0.40 mg/kg)、中国産香港経由スチールチーズナイフからのクロムの溶出 (0.9 mg/L)、など。

その他アフラトキシン等多数

●英国 食品基準庁 (FSA : Food Standards Agency) <http://www.food.gov.uk/>

1. アレルギー警告

Interlink Direct は表示されていない乳のため **Orthodox Coconut Palm** ブランドのココナツジュースをリコール

Interlink Direct recalls its Orthodox Coconut Palm brand Coconut Juice due to undeclared milk

22 December 2015

<http://www.food.gov.uk/news-updates/news/2015/14774/interlink-direct-recalls-its-orthodox-coconut-palm-brand-coconut-juice-due-to-undeclared-milk>

成分リストに記載のない乳タンパクを含むため、リコールを行っている。製品の写真は添付ファイル参照。

●英国医薬品・医療製品規制庁 (MHRA : Medicines and Healthcare products Regulatory Agency) <http://www.mhra.gov.uk/>

1. 危険なダイエット錠剤は新年の誓いの答えではない

Dangerous diet pills not the answer to New Year's resolutions

31 December 2015

<https://www.gov.uk/government/news/dangerous-diet-pills-not-the-answer-to-new-years>

[-resolutions](#)

MHRA は人々に対しオンラインでダイエット錠剤を購入することの危険性について警告

MHRA は新年に減量しようとしている人に、オンラインでダイエット錠剤を購入することの危険性を知るよう警告する。2015 年は MHRA の執行部門は減量や痩身を謳った錠剤 24 万回分を押収している。これらの製品の多くはオールナチュラルや植物成分と宣伝されているが、実際には合成薬物シブトラミンを含む。シブトラミンは 2010 年に欧州と米国で心臓発作と脳卒中リスクが増えるため撤回された。

2005 年以降 MHRA の職員は、ハーブ成分を含むと宣伝している伝統医薬品（注：日本では食品としての扱い）を分析すると違法な医薬品成分が混入されていたという事例を何百と見つけてきた。ハーブやナチュラルと宣伝している製品を購入する前に、消費者はその製品の THR（伝統ハーブ登録）ロゴや THR/PL ナンバーを見るよう助言する。

MHRA の上級政策アドバイザー Lynda Scammell は言う：

インターネットには「減量」や「痩身」を宣伝した錠剤を販売している無数のサイトがある。多くは魅力的な宣伝文句と「簡単に解決」できるという。しかし「ナチュラル」は「安全」を意味しないことに注意が必要である。

魔法の治療法は存在しない。現実にはこれらの錠剤のほとんどは医薬品として認可されたものではなく中身は不明である。単に効果がないか、あるいは未知の危険な成分が入っているか、である。結果は壊滅的なものになりうる。我々の助言は、医師や薬剤師に相談すること無しにオンラインでダイエット錠剤を購入しないこと、である。体重について懸念があるなら医師などに相談すること。

● 米国食品医薬品局（FDA : Food and Drug Administration）<http://www.fda.gov/>,

1. FDA は食品の表示に「ナチュラル」という用語を使うことについて意見を募集

FDA Requests Comments on Use of the Term "Natural" on Food Labeling

December 24, 2015

<http://www.fda.gov/Food/NewsEvents/ConstituentUpdates/ucm471919.htm>

意見募集期間を 5 月 10 日まで延長する。

2. FDA の執行：消費者を守り人々からの信頼を強化する

FDA Enforcement: Protecting Consumers and Enhancing Public Confidence

December 21, 2015

By: Howard Sklamberg, J.D. and Michael R. Taylor, J.D

<http://blogs.fda.gov/fdavoices/index.php/2015/12/fda-enforcement-protecting-consumers-and-enhancing-public-confidence/>

連邦食品医薬品化粧品法では、米国の消費者向けの食品、ダイエタリーサプリメントを製造する企業はそれらが安全であるようにする法的責任がある。ほとんどの企業はこの責任を重大に受け止めている。FDA は企業と協力して規制に従った安全な製品を作る誠実な努力を促進している。

しかし企業が責任を果たさず法を破り公衆衛生を危機にさらした場合にはFDA は決然と対応する。例えばこの秋ニュージャージーの裁判所でダイエタリーサプリメントメーカーの Raw Deal 社の社長 Barry Steinlight が異物混入された不正商標表示製品を販売したことで40ヶ月の服役と100万ドルの没収という有罪判決を受けた。そして今日は同社の前副社長 Catherine Palmer がFDA の捜査を妨害した罪で1年の保護観察と10万ドルの没収を宣告された。

昨年は Peanut Corporation of America によるサルモネラ汚染のあるピーナッツとピーナッツ製品についての裁判所での有罪判決について書いた。

本日の Raw Deal 社の告発については我々のダイエタリーサプリメント分野についての対応を強調する。この判決は、コストカットのために異物を入れたり返品された製品を再利用したりロットについての記録を改ざんしたりすることを含むこの会社の違法な行為による。この件は4年以上前に遡る。犯罪として司法省に起訴されるまで、FDA は多数の執行を行っている。

- ・2011年8月にFDAの犯罪捜査事務所がRaw Deal社が小麦粉や食品添加物のマルトデキストリンなどを入れてダイエタリーサプリメントを作っているという匿名の情報を受け取った。さらに同社が大腸菌や鉛、カビが原因で返品された製品を再び販売しているという情報も受け取った。

- ・捜査の間、FDAのニュージャージー地方事務所は虚偽の分析証明書を作るなどのRaw Dealの行為について4つの匿名文書を受け取った。

- ・地方事務所は査察を行い、同社が消費者に知らせることなく成分を代替りの充填剤に変えていたことを確認した。そのため警告文書を発行した。

- ・その後この警告に対応せず、異物混入製品の製造を続けた。その後、製品からサルモネラが検出されたことを確認した。

- ・この結果、2014年3月に製品のクラスIリコールを行った。

これは一つの例である。企業には違法行為を修正するチャンスが与えられるが、修正しない場合は重大な帰結となる。実際過去2年、FDAの犯罪捜査は407の事件で348人逮捕、305の有罪判決、\$694,131,579の罰金となっている。

3. リコール情報

- **Nuway Distributors** 社は表示されていないシルデナフィルが存在するため **APEXXX** を「全国/全世界」で自主回収

Nuway Distributors llc Issues Voluntary [Worldwide/Nationwide] Recall of APEXXX Due to Presence of Undeclared Sildenafil

December 23, 2015

<http://www.fda.gov/Safety/Recalls/ucm478919.htm>

FDA の検査でシルデナフィルが検出された。同時に同じ業者が提供している OPAL 錠剤も回収している。

*参考：食品安全情報（化学物質）No. 22/ 2015（2015. 10. 28）

【FDA】 公示

<http://www.nihs.go.jp/hse/food-info/foodinfonews/2015/foodinfo201522c.pdf>

Public Notification: APEXXX Contains Hidden Drug Ingredient

10-23-2015

- **緊急：薬物リコール—表示されていないシブトラミンとフェノールフタレインを含む減量用ダイエットサプリメント**

Urgent: Drug Recall - Weight Loss Dietary Supplements with Undeclared Sibutramine and Phenolphthalein

December 23, 2015

<http://www.fda.gov/Safety/Recalls/ucm478883.htm>

FDA の検査で「La'Trim Plus」、「Oasis」および「Jenesis」ダイエットサプリメントから表示されていないシブトラミンとフェノールフタレインが検出されたためリコール。

- **Bee Extremely Amazed 社は表示されていない医薬品成分のため各種減量用製品を全国で自主回収**

Bee Extremely Amazed LLC Issues Voluntary Nationwide Recall of Various Products Distributed For Weight Loss Due to Undeclared Drug Ingredients

December 22, 2015

<http://www.fda.gov/Safety/Recalls/ucm478794.htm>

シブトラミン及び/またはフェノールフタレインが検出されている。15 種類の全てのロット。製品の写真を掲載。

4. 公示

Public Notification

12-28-2015

次の製品には表示されていない医薬品成分が含まれる。製品の写真は各ウェブサイトを参照。

- **OrgaZen 3500**

<http://www.fda.gov/Drugs/ResourcesForYou/Consumers/BuyingUsingMedicineSafely/MedicationHealthFraud/ucm479142.htm>

FDA の検査でタダラフィルが検出された。

- OrgaZen 3000

<http://www.fda.gov/Drugs/ResourcesForYou/Consumers/BuyingUsingMedicineSafely/MedicationHealthFraud/ucm479137.htm>

FDA の検査でタダラフィルが検出された。

- Xtra Zone 2600

<http://www.fda.gov/Drugs/ResourcesForYou/Consumers/BuyingUsingMedicineSafely/MedicationHealthFraud/ucm479062.htm>

FDA の検査でシルデナフィルとタダラフィルが検出された。

- Xtra Zone 2200

<http://www.fda.gov/Drugs/ResourcesForYou/Consumers/BuyingUsingMedicineSafely/MedicationHealthFraud/ucm479044.htm>

FDA の検査でシルデナフィルとタダラフィルが検出された。

- Xtra Zone 2400

<http://www.fda.gov/Drugs/ResourcesForYou/Consumers/BuyingUsingMedicineSafely/MedicationHealthFraud/ucm479052.htm>

FDA の検査でシルデナフィルとタダラフィルが検出された。

- Triple MiracleZen Extreme 1750 mg

<http://www.fda.gov/Drugs/ResourcesForYou/Consumers/BuyingUsingMedicineSafely/MedicationHealthFraud/ucm479094.htm>

- FDA の検査でシルデナフィル、タダラフィル、ダポキセチンが検出された。 Triple Power Zen Plus 2000

<http://www.fda.gov/Drugs/ResourcesForYou/Consumers/BuyingUsingMedicineSafely/MedicationHealthFraud/ucm479038.htm>

FDA の検査でシルデナフィルとタダラフィルが検出された。

- Triple Power Zen Gold 2000

<http://www.fda.gov/Drugs/ResourcesForYou/Consumers/BuyingUsingMedicineSafely/MedicationHealthFraud/ucm479032.htm>

FDA の検査でシルデナフィルとタダラフィルが検出された。

- Triple MiracleZen Plus 1500 mg

<http://www.fda.gov/Drugs/ResourcesForYou/Consumers/BuyingUsingMedicineSafely/MedicationHealthFraud/ucm479105.htm>

FDA の検査でシルデナフィル、タダラフィルとダポキセチンが検出された。製

- Triple MiracleZen Gold 1750 mg

<http://www.fda.gov/Drugs/ResourcesForYou/Consumers/BuyingUsingMedicineSafely/MedicationHealthFraud/ucm479099.htm>

FDA の検査でシルデナフィル、タダラフィルとダポキセチンが検出された。

- Eros Power Zone 1900

<http://www.fda.gov/Drugs/ResourcesForYou/Consumers/BuyingUsingMedicineSafely/MedicationHealthFraud/ucm479089.htm>

FDA の検査でデスメチルカルボデナフィルとダポキセチンが検出された。

- Diamond 3500

<http://www.fda.gov/Drugs/ResourcesForYou/Consumers/BuyingUsingMedicineSafely/MedicationHealthFraud/ucm479083.htm>

FDA の検査でシルデナフィルとタダラフィルが検出された。

- Rhino Big Horn 3000

<http://www.fda.gov/Drugs/ResourcesForYou/Consumers/BuyingUsingMedicineSafely/MedicationHealthFraud/ucm479157.htm>

FDA の検査でデスメチルカルボデナフィルとシルデナフィルが検出された。

- Rhino 7 Blue 9000

<http://www.fda.gov/Drugs/ResourcesForYou/Consumers/BuyingUsingMedicineSafely/MedicationHealthFraud/ucm479147.htm>

FDA の検査でタダラフィルが検出された。

5. 警告文書

Warning Letters

- Roach's Dairy Farm 12/11/15

<http://www.fda.gov/ICECI/EnforcementActions/WarningLetters/2015/ucm477313.htm>

食用に販売された牛の残留動物用医薬品デスフロイルセフチオフル

- Dherbs Health Emporium Inc. 12/10/15

<http://www.fda.gov/ICECI/EnforcementActions/WarningLetters/2015/ucm478819.htm>

各種製品の「ウイルス疾患や感染に対抗」「腎臓結石を小さくする」「炎症を減らす」「脳の血流を改善」などが未承認新規医薬品。さらにダイエタリーサプリメント CGMP 違反。

- Uoya Inc. dba Shintoku, Inc. 12/22/15

<http://www.fda.gov/ICECI/EnforcementActions/WarningLetters/2015/ucm478814.htm>

シーフード HACCP 規制の重大な違反。特にヒスタミンの管理についての HACCP 計画がない。

-
- 米国 NTP (National Toxicology Program、米国国家毒性プログラム)

<http://ntp.niehs.nih.gov/>

1. ワークショップ：植物ダイエタリーサプリメントの安全性を評価する課題に対応する

Workshop: Addressing Challenges in the Assessment of Botanical Dietary Supplement Safety

April 26-27, 2016

<http://ntp.niehs.nih.gov/about/presscenter/events/2016/index.html>

植物ダイエタリーサプリメントの安全性は重大な公衆衛生上の問題である。2012年の全国健康インタビュー調査によると、米国人の17.7%が過去12ヶ月間にビタミンやミネラル以外のダイエタリーサプリメントを使用したことがあると回答している。植物ダイエタリーサプリメントはその固有の複雑性と広範なものが類似の名称で呼ばれる可能性があることから、有効性と安全性の評価には独特の課題がある。相互に関連する課題は、(1) 植物としての同等性を評価するための基準や方法の開発（例えば化学組成が同じであることや生物学的作用が同じ）、(2) 有効成分の同定あるいは植物の生物学的反応パターンの同定、(3) 吸収、分布、代謝、排泄 (ADME)、である。

開催は2016年4月26、27日であり、事前登録を受け付けている。

● 米国疾病予防管理センター (US CDC : Centers for Disease Control and Prevention)

<http://www.cdc.gov/>

1. ファクトシート 飲酒とあなたの健康

Fact Sheets - Alcohol Use and Your Health

Page last reviewed: December 21, 2015

<http://www.cdc.gov/alcohol/fact-sheets/alcohol-use.htm>

飲み過ぎはあなたの健康を損なう。米国では過剰飲酒が2006～2010年の間毎年約88,000の死亡と250万年の余命損失(YPLL)につながり、死亡した人の命は平均30年短い。さらに労働年齢の20～64才の10人中1人の死亡は過剰飲酒が原因で、2010年の過剰飲酒による経済的損失は2,490億ドル、あるいは1杯飲む毎に2.05ドルと推定されている。

米国での標準飲酒は純アルコールで14.0グラム。過剰飲酒は男性なら一度に5杯以上、女性は4杯以上、あるいは男性週に15杯以上、女性週に8杯以上と定義される。過剰飲酒をしている人のほとんどはアルコール中毒やアルコール依存症ではない。

米国食事ガイドラインでは適量飲酒を女性は1日1杯以下、男性は2杯以下としているが、飲まない方がいい人もいる。妊娠中あるいは妊娠を計画している人、処方あるいはOTC医薬品を使用している人、21才以下、アルコール中毒回復期あるいは飲む量をコントロールできない人、アルコールで悪化する可能性のある病気の人、運転手あるいは技術や注意や協調が必要な活動をしている人である。さらに誰であっても、健康に良いかもしれないという理由で飲み始めるあるいは飲む量を増やすべきではない。

*ファクトシート PDF 版

<http://www.cdc.gov/alcohol/pdfs/alcoholyourhealth.pdf>

●米国農務省 (USDA : Department of Agriculture)

<http://www.usda.gov/wps/portal/usdahome>

1. USDA の FSIS は公衆衛生上のトレランスが設定されていない残留物質についての標準的アプローチを発表

USDA's Food Safety and Inspection Service Announces Standardized Approach to Residues without Established Public Health Tolerances

Dec. 23, 2015

<http://www.fsis.usda.gov/wps/portal/fsis/newsroom/news-releases-statements-transcripts/news-release-archives-by-year/archive/2015/nr-122315-01>

家畜や家禽の屠体の検査の結果、FDA でも EPA でもトレランスや規制値が設定されていない化学物質が検出された場合、これまではケースバイケースで対応してきたが、本日アプローチを標準化した。

近年の分析法の改善で、これまで検出できなかったような化合物が検出できるようになるなど、より多くの情報が得られるようになった。本日発表した新しい、構造化されたアプローチは FSIS による、既存の公衆衛生政策の隙間を埋めるための科学に基づいた対策を実施することを目的とした近代化の努力の一部である。

FSIS は肉や家禽、卵の化学汚染物質を同定し、優先順位付けをし、検査する省庁間計画である全国残留物質計画(NRP)を管理している。FDA と EPA は食品に存在する可能性のある化合物の最大法的許容量を設定し、FSIS が統計学的サンプルサイズの肉や家禽、卵製品を検査することで NPR を管理している。

検査方法の向上で、動物用医薬品や残留農薬の他に、トレランスや規制値がない化合物が検出されることがたまにある。これらには環境汚染物質や重金属、工業用化学物質、カビ毒などがある。動物用医薬品や農薬と違ってこれらは通常意図的に動物に与えられることはないが、水や土壌や空気に存在するために動物が暴露される。

新しいアプローチでは、特定の化合物に対して FSIS が、それ以下なら公衆衛生上の懸念は無いあるいは無視できるという僅少濃度 de minimis level (DML)を設定する。もし FSIS の検査で DML を超える化合物が検出されたら、農場と屠畜場や加工施設に通知する。さらに調査や対策の検討のため FDA と EPA やその他関連機関にも知らせる。

DML を超える検出が時々確認された場合には定期的なサンプリングを検討し、検査結果が DML 以下であることを確認できるまで「監視済み」マークをつけない。

2. 官報告知 国家残留物質計画：化学ハザードモニタリング

Federal Register / Vol. 80, No. 249 / Tuesday, December 29, 2015 /

National Residue Program: Monitoring Chemical Hazards

<http://www.fsis.usda.gov/wps/wcm/connect/a76786be-2bcd-4416-8631-3963152cfa0a/2015-0002.htm?MOD=AJPERES>

家畜や家禽の屠体からトレランスが設定されていない、ハザードとなる可能性のある物質が検出された場合のアプローチについて（注：上の記事 de minimis level (DML)の件）。2016年2月29日まで意見を受け付ける。

-
- オーストラリア・ニュージーランド食品基準局
(FSANZ : Food Standards Australia New Zealand)
<http://www.foodstandards.gov.au/>

1. 正しい表示を

Getting Your Claims Right
(December 2014)

<http://www.foodstandards.gov.au/publications/Pages/gettingyourclaimsright.aspx>

ガイドライン自体は2014年の発行だが、2016年1月16日に栄養や健康に関する表示についての新しい規制が発効する。

*参考：食品安全情報（化学物質）No. 25/2014（2014.12.10）

【FSANZ】「正しい宣伝を」：オーストラリア・ニュージーランド食品基準の栄養健康関連強調表示基準を守るためのガイド

<http://www.nihs.go.jp/hse/food-info/foodinfonews/2014/foodinfo201425c.pdf>

本ガイドは、ISFR (Implementation Subcommittee for Food Regulation) が作成し、オーストラリア・ニュージーランド食品基準の栄養健康関連強調表示基準 (Standard 1.2.7) をどのように遵守すればよいのかを説明しているガイダンス文書である。

-
- オーストラリア・ニューサウスウェールズ州食品局 (The NSW Food Authority)
<http://www.foodauthority.nsw.gov.au/>

1. リコール Nakula オーガニックココナツクリーム

Nakula Organic Coconut Cream
22 December 2015

<http://www.foodauthority.nsw.gov.au/news/recallsandadvisories/product-recall-nakula-o>

[rganic-coconut-cream](#)

表示されていない乳成分を含むため、リコール対象とする。

● ニュージーランド一次産業省 (MPI : Ministry of Primary Industry)

<http://www.mpi.govt.nz/>

1. 貝を採っても安全? – MPI はあなたに教えることができる

Is it safe to gather shellfish? – MPI can tell you

23 Dec 2015

<http://www.mpi.govt.nz/news-and-resources/media-releases/is-it-safe-to-gather-shellfish-mpi-can-tell-you/>

夏の間、貝の採捕者向けに毒素レベルについての警告電子メールサービスが導入された。

MPI は国の周辺の水や貝を毎週集めて有毒藻類やその毒素について検査している。もし安全基準値超過があれば、MPI と地方の健康当局は問題の地域に警告を出しウェブにも掲載する。これからはウェブにアクセスして登録するとメールで警告を受け取ることができる。現在、二種類のバイオトキシン警告が出されている。一つは北島西海岸、もう一つは Plenty 湾である。

貝を安全に採るためのヒント：綺麗な水の時に採捕し、豪雨の後はやめて数日経って水が綺麗になるまで待つこと、汚染の可能性のある人口過密地域や工業廃水、農場、マリナー等では採捕しないこと、採捕後は低温保存すること、調理の際は完全に加熱すること、ただし加熱は有害微生物を殺すが毒素を除くことはできないことを覚えていること、喫食後に具合が悪くなった人がいたら直ちに診察を受けて検査用に残品を保管するようにすること。貝採捕についての助言パンフレットをダウンロード可能。

● 香港政府ニュース

<http://www.news.gov.hk/en/frontpagetextonly.htm>

1. キャンディ、デザートリコール

Candy, dessert batches recalled

December 31, 2015

http://www.news.gov.hk/en/categories/health/html/2015/12/20151231_162610.shtml

食品安全センターは、栄養成分表示と栄養含量が一致しないとして次のミルクキャンディーと餅米ボールの販売を中止するよう要請した。

- ・ ペコミルクキャンディー：食物繊維が 100g あたり 1.4g と表示されているが食物繊維は含まれていなかった。
- ・ Siu Ning Bo Tong Yuen チョコレート風味餅米ボール：ナトリウムが 100g あたり 22mg と表示されているが 69mg 含んでいた。

2. 火鍋検体は検査に合格

Hot pot samples pass tests

December 29, 2015

http://www.news.gov.hk/en/categories/health/html/2015/12/20151229_144628.shtml

136 の火鍋の食品検体（肉団子、魚団子、野菜、麺、スープ等）の色素、保存料、可塑剤、金属汚染物質を検査し全て合格だった

● 韓国食品医薬品安全処（MFDS : Ministry of Food and Drug Safety)

<http://www.kfda.go.kr/intro.html>

1. 日本産輸入食品の放射能検査の結果

検査実査課/輸入食品政策課

- 2015.12.11.~2015.12.17.

<http://www.mfds.go.kr/index.do?mid=676&seq=29835>

- 2015.12.4.~2015.12.10.

<http://www.mfds.go.kr/index.do?mid=676&seq=29769>

2. 違法卵の輸入業者の取り締まり強化

不良食品根絶推進団 2015-12-23

<http://www.mfds.go.kr/index.do?mid=675&seq=29870>

食品医薬品安全処は、全国の卵及びトッポキ加工業店など 542 ヶ所を集中点検した結果、未申告会社の卵を使った所など 56 ヶ所が摘発されて営業停止などの処分を行い、そのうち違反内容が重い 9 業者を告発したと発表した。

この点検は、国民に心配をかけた卵加工品、トッポキと関連した食品安全違法行為を根絶するため農林畜産食品部（農産物品質管理員）及び地方団体と合同で 2 ヶ月間実施した。食薬処は、卵加工品及びトッポキ製造業者に HACCP を義務付けるようにし、技術指導、施設資金支援など支援を強化している。

3. ベンゾピレンが超過して検出された山椒油（サラダ油）の回収

食品管理総括課 2015-12-22

<http://www.mfds.go.kr/index.do?mid=675&seq=29863>

食品医薬品安全処は、食品製造・加工業者が製造した山椒油(食品類型：その他食用油脂)製品からベンゾピレンが基準(2.0 μg/kg以下)を超過して検出(5.5 μg/kg)されたため、販売中断及び回収措置すると発表した。

(山椒を加熱して香りを出す工程がある)

4. 食品医薬品安全庁、ネイバーと業務協約締結

統合食品情報政策チーム 2015-12-17

<http://www.mfds.go.kr/index.do?mid=675&pageNo=1&seq=29823&cmd=v>

食品医薬品安全処は、NAVER(株)とともに食品安全情報対国民サービス拡大のための業務協約を12月17日に締結する。

今回の業務協約は政府3.0の一環で推進された‘統合食品安全情報網’の食品安全情報を国民に提供して安全な食品消費環境構築と食品安全に対する信頼性向上に寄与するために用意された。業務協約で提供される情報は、▲食品安全知識、▲食生活安全守則、▲食品及び健康機能食品情報、▲生涯周期別食生活情報などで、NAVER 知識百科のうち健康百科及び食べ物百科などから提供する予定である。

5. 食品異物混入検査の信頼性と客観性の確保のための関連告示改訂

食品管理総括課 2015-12-11

<http://www.mfds.go.kr/index.do?mid=675&pageNo=1&seq=29753&cmd=v>

食品医薬品安全処は、食品製造・輸入業者が異物を報告する際に消費者から報告された異物発生実態だけでなく、会社の対応についての項目も一緒に報告することを主要内容にする「対象異物の範囲と調査・手続きなどに関する規定」一部改訂考案(案)を発表した。

今回の改正案は営業者の異物報告事項を具体化して、既存異物調査判定委員会の名称を変更し役目を明確化することで異物混入調査の信頼性と科学的客観性を確保するために留意した。

主要内容は、▲営業者の防止策などの提出資料の具体化、▲異物調査判定委員会の名称変更及び役割の明確化、▲虫異物原因の調査過程に酵素反応実験及び幼虫などの侵入跡の調査追加などである。

異物誤認報告を最小化し、異物混入経路を速かに把握するために、営業者が調査機関に異物発見事実を報告する時には消費者の異物報告だけでなく営業者が異物を防止するために実施している対策などの資料も一緒に提出しなければならない。

提出資料の正確さを高めるために営業者の異物報告期限を‘確認した時点から翌日まで’から‘確認した日を含む3日以内’に延長する。

‘異物調査判定委員会’の名称を‘異物専門家自問団’に変更して異物原因の調査全般に対する自問ができるように役目を明確にする。

報告件数が一番多い虫異物の場合、原因調査の迅速性と正確性を高めるために消費段階

の調査で酵素反応（カタラーゼ）実験と幼虫など侵入跡（包装紙穴確認）調査をする。酵素反応実験は過酸化水素水を虫に落として気泡の発生有無を見るというもので、虫が熱処理工程中に混入された場合には気泡が発生しない。

※ 異物種類別発生報告状況（2014年、全体 6,419件）：虫(2,327件、36.3%)、かび(667件、10.4%)、金属(433件、6.7%)、プラスチック(316件、4.9%)、硝子(101件、1.6%)

● その他

EurekaAlert

● **FIUの科学者がどうやってヒ素が植物の種子に蓄積するのか発見**

FIU scientists discover how arsenic builds up in plant seeds

22-Dec-2015

http://www.eurekaalert.org/pub_releases/2015-12/fiu-fsd122215.php

フロリダ国際大学の Herbert Wertheim 医学校の分子生物学及び薬理学者である Barry P. Rosen と Jian Chen らが国際研究チームの一員として、ヒ素がどのようにしてコメのような植物の種子に入るのかを発見した。この発見でより健康的なコメへの希望がもてる。

Nature Plants に発表されたシロイヌナズナ (*Arabidopsis thaliana*) での研究で、イノシトールトランスポーターシステムを使って亜ヒ酸塩が種子に入ることを発見した。白いナズナはコメのような食用植物のモデルと使用されている。

● **ビタミンDの月間高投与量は転倒リスクの高さと関連**

Higher monthly doses of vitamin D associated with increased risk of falls

4-Jan-2016

http://www.eurekaalert.org/pub_releases/2016-01/tjnj-hmd122915.php

JAMA Internal Medicine に発表された無作為化臨床試験。70才以上の男女で月にビタミンD3を24,000 IUの低用量対照群67人、60,000 IUを67人、24,000 IUのビタミンD3とカルシフェジオールを67人に投与、6ヶ月と12ヶ月で25-ヒドロキシビタミンD濃度と下肢機能、転倒を評価した。対照群に比べて60,000 IUと24,000 IUのビタミンD3とカルシフェジオール群の転倒回数が多く機能低下予防もなかった。

*論文

(オープンアクセス)

*Monthly High-Dose Vitamin D Treatment for the Prevention of Functional Decline
A Randomized Clinical Trial

Heike A. Bischoff-Ferrari, et al.,

<http://archinte.jamanetwork.com/article.aspx?articleid=2478897>

(エディトリアル)

* ビタミン D 補充と転倒リスク増加：ビタミンサプリメントについての教訓再び

Vitamin D Supplementation and Increased Risk of Falling

A Cautionary Tale of Vitamin Supplements Retold

Steven R. Cummings et al.,

<http://archinte.jamanetwork.com/article.aspx?articleid=2478893>

以上

食品化学物質情報

連絡先：安全情報部第三室